

感動をありがとう！ 佐藤愛子選手

8 / 11市内が熱い応援に包まれました



市内随所に応援看板・のぼりを設置



熱気に包まれたテレビ応援会場



北京に向かう現地応援団

8月11日、市民文化センターで北京五輪女子柔道57キロ級のテレビ応援会が行われました。

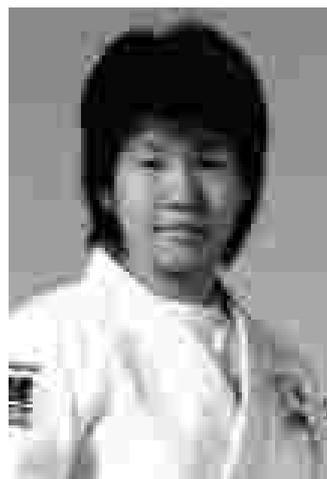
予選がテレビ放映される午後1時には、2000人を超える市民が会場に詰めかけ、今月号の表紙で紹介したように、大型スクリーンに登場した佐藤愛子選手に熱い声援を送りました。

北海道関係では、柔道をはじめ陸上、水泳、自転車、体操、射撃、野球の各競技に17人の道産子アスリートが北京五輪の代表として4年に1度の舞台に挑みました。

4月6日に五輪への出場が決まり、北京オリンピック女子柔道「佐藤愛子選手」名寄市民後援会が5月20日に結成されました。

市民後援会では、応援看板・のぼりを設置するなど、応援ムードを盛り上げる一方、総勢20人が応援団として現地に向かいました。

メダルには届かなかったものの、五輪の舞台で見事な逆転一本勝ちを納めるなど、名寄市初めての夏季五輪代表として新たな歴史を刻み、感動を与えてくれました。



佐藤選手の紹介

1983年10月18日、名寄市中名寄生まれ。小学校2年生から柔道を始め、旭川南高校、筑波大学を経て、現在了徳寺学園(千葉県浦安市)所属。得意技は背負い投げ。



感動をありがとう！ 広報なよろを飾った佐藤愛子選手



広報なよろ平成20年8月号では市民後援会が開いた壮行会の模様を紹介



広報なよろ平成20年5月号では夏季競技での初めての五輪代表に決まったことを紹介



広報なよろ平成19年10月号では熱心に地元少年団を指導する写真と世界選手権銅メダル獲得を紹介



広報なよろ平成19年7月号に佐藤選手が初登場